

2017年11月7日

各位

三井金属鉱業株式会社
マイクロ波化学株式会社

三井金属とマイクロ波化学との戦略的業務提携のお知らせ

～マイクロ波を活用した新規機能材料の開発を推進～

三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区、社長：西田計治、以下「三井金属」）と、マイクロ波化学株式会社（本社：大阪府吹田市、社長：吉野巖、以下「マイクロ波化学」）は戦略的な業務提携により、マイクロ波を活用した生産プロセスの高度化、新規機能材料の開発を推進することと致しましたので、お知らせいたします。

三井金属は、中期経営計画「16 中計」において成長商品・成長事業の創出を図ることを掲げ、将来への布石作りとして新事業の創出に取り組んでおります。この一環として2017年9月1日のプレスリリースのとおり、既存事業分野と事業シナジーが見込まれる国内外の有望なベンチャー企業への投資（コーポレートベンチャーキャピタル：以下 CVC）を対象とするプライベートファンドを設立しています。

マイクロ波化学は、「さまざまな領域の専門家からなる開発チーム」と、「基礎研究から商業生産まで対応する開発インフラから生み出されるデータやノウハウの蓄積」が生み出すプラットフォーム技術を用いて、独自の製造プロセスや、既存の技術では困難であった新素材の開発に取り組んでいる大阪大学発のベンチャー企業です。この技術は、医薬、化学材料、食品など、様々な分野へ応用展開が可能であることから、国内外を問わず、様々なメーカーと共同開発を進めております。

今般、三井金属は、CVC 第一号案件としてマイクロ波化学に出資し、マイクロ波を用いた新規生産プロセスや新機能材料に関する共同開発を行う、両社による戦略的業務提携の合意に至りました。三井金属が得意とする機能材料や電子材料などの材料の開発や製造の分野で、マイクロ波化学のマイクロ波技術とのシナジー効果が見込まれます。

これにより、三井金属は、「マテリアルの知恵を活かす」のもと、保有する生産プロセスの高度化、新機能材料の開発ならびにスピードアップを図り、マイクロ波化学は、非鉄金属業界との初の提携により、新規分野での技術確立及び事業化を推進してまいります。

以上

【本件問い合わせ先】

三井金属 経営企画本部 広報部

TEL：03-5437-8028 Eメール：PR@mitsui-kinzoku.co.jp

マイクロ波化学株式会社 管理部

TEL：06-6170-7595 Eメール：info@mwcc.jp

(ご参考)

1) マイクロ波について

マイクロ波とは電磁波の一種であり、波長 1mm~1m (300MHz~300GHz) の電波です。レーダーや加速器、電子レンジなど工学分野から我々の身の回りの家電製品まで広く利用されています。

2) マイクロ波化学プロセスの特徴

電子レンジにも使われている「マイクロ波」の技術を活用し、分子レベルでものづくりをデザインすることで、従来法では技術的に製造困難であった新素材の開発や、省エネ・高効率・コンパクトな製造プロセスを可能とします。

化学プラントなど材料製造の現場では伝熱工程において、従来は、間接的に全体を加熱してエネルギーを伝達してきました。一方、マイクロ波は、直接、特定の分子や物資だけにエネルギーを伝達できるため、従来法と比較して、反応時間の短縮や、温度ムラがない均一な反応を、実現することができます。

3) 会社の概要

	マイクロ波化学 (株)	三井金属鉱業 (株)
1. 設立	2007年8月	1950年5月1日
2. 所在地	大阪府吹田市山田丘 2-8	東京都品川区大崎 1-11-1
3. 資本金	36億1434万円(資本準備金を含む)(2017年10月末)	421億2,946万円(2017年3月末)
4. 事業内容	①マイクロ波化学プロセスの研究開発及びエンジニアリング ②マイクロ波化学プロセスを活用した製品製造における合弁事業、ライセンス事業 ③マイクロ波化学プロセスを活用した製品の製造・販売	①機能材料・電子材料の製造・販売 ②非鉄金属製錬 ③資源開発 ④貴金属リサイクル ⑤素材関連事業 ⑥自動車部品の製造・販売 等
5. 従業員数	41名	11,630名(連結)